

草津市歴史資料館整備基本構想の策定について

1. 策定の主旨・背景

本市は古くから豊かな歴史を育んでおり、建造物や美術工芸品、民俗文化財等の多様な文化財が継承されている。また、史跡芦浦観音寺跡、史跡草津宿本陣、史跡野路小野山製鉄遺跡の3つの史跡が所在し、これらの歴史資産を活かしたまちづくりを進めるため、歴史資産を展示、公開、活用する施設を関連文化財群（3つの史跡）の近辺で整備することとしてきた。

史跡草津宿本陣については、草津宿街道交流館がその機能を果たしており、史跡野路小野山製鉄遺跡については、今後、野路公園の整備に合わせた検討を進めることとしている。史跡芦浦観音寺跡については、今般、史跡整備に着手し、その整備と並行して、史跡芦浦観音寺跡近辺における歴史資料館の整備基本構想を策定する。



芦浦観音寺



草津のサンヤレ踊り

芦浦観音寺やサンヤレ踊りなど、地域の人々の祈りや、故郷を愛する思いによって守り継承されてきた風習や民俗芸能等の歴史資産を対象とする。

【これまでの経緯】

- 草津市歴史文化基本構想（平成31年3月策定）
歴史資産を展示公開活用する施設は、関連文化財群の整備と併せ、保存公開施設を配置する方法などが考えられるため、今後適切な方法を検討する。
- 草津市文化財保存活用地域計画（令和2年3月策定）
歴史文化を活かしたまちづくりを進めるため、歴史資産を守り伝え活用する施設のあり方を検討し、歴史資産を保存公開する施設の整備を進める。
- 草津市文化芸術機能等施設整備基本計画（令和4年3月見直し）
歴史資産を展示公開活用する施設は、関連文化財群の近辺において整備することが有効であることから、三ツ池に歴史伝統館機能の施設整備を行わず、別途検討する。

2. 構想策定期

令和6年7月（予定）

3. 策定にあたっての視点

関連計画や関連法令等の考え方を踏まえ、歴史文化財の学習や観光促進等の多様な視点から構想策定を進める。

4. 策定に向けた体制

草津市文化財保護審議会への諮問、答申を踏まえ構想策定を進める。
（学識経験者、関係団体、地域）

5. 構想の構成・内容

- （1）前提条件の整理
構想策定の背景、関連計画との整合など
- （2）基本的な考え方
施設の理念、方針、機能など
- （3）整備へ向けた検討
立地、ターゲット、展示テーマ、諸室の役割や規模、デジタル技術の活用など

6. 市民参加の手法

パブリックコメントを実施する。

7. スケジュール

別紙のとおり

8. 整備予定地

史跡芦浦観音寺跡近辺